

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん



**2024年度 年主題くさあ、漕ぎだそう~奏でよう~**

**0・1・2歳児 9月主題 「あそぼう」「おもしろそう」**

- 月のねがい
- ◎お祈りやさんびかを真似ようとする
  - ◎興味が広がり、のびのびと体を動かす
  - ◎聖書のお話に触れ、親しむ
  - ◎保育者との関係が深まり、自分の思いを安心して出しながら遊ぶ
  - ◎季節の変化に気づき、花や虫、吹く風に興味をもつ

**3・4・5歳児 9月主題 「のびのびと」「深める」**

- 月のねがい
- ◎暑い夏を守られたことを神さまに感謝する
  - ◎友だちと共にいる時間を喜び、じっくりと遊びをすすめる
  - ◎一人ひとりに与えられている賜物に気づき感謝する
  - ◎遊びや活動を通し、友だちと互いの思いを聞き合いながらイメージを共有する
  - ◎夏から秋の自然を感じながら、心を開放し、気持ちよく体を動かす



**おなかぺこぺこ大作戦**

暑い暑い8月が終わりを迎え、いよいよ9月、二学期の始まりですね。夏休み期間中は、3・4・5歳の預り児さんたちも朝の木陰の涼しい時間に園庭で遊び、午後からは室温も整えた部屋でゴロゴロタイムも楽しみながら過ごしていました。ゆっくりしていたお休みモードから、二学期になれば、大きな行事に向けて少しずつ頑張りモードになっていきます。心身共に健康第一で取り組めたらと思います。さて、今年の運動会のテーマは、今年の保育テーマである食育を基に、「おなかぺこぺこ大作戦~みんなと一緒に、いただきます・ありがとう・ごちそうさま~」に決まりました。運動会のためだけでなく、日々の活動の中でも体をしっかり動かして、美味しいご飯をもりもり食べよう!という思いが込められています。毎日の活動や遊びの中で培われる身体の使い方や心情が、どのような形で表現されていくのかを楽しみ方としていきたいですね。二学期に入っすぐに運動会のおけいこが様々な形で入ってきますので、ご家庭での声掛けやご協力をよろしくお願いします。今月紹介させていただく絵本は、文:岸田裕子さん、絵:長野博一さん作の『なにをたべてきたの?』です。おなかぺこぺこのしろぶたくんが、何か食べるものを探して歩いていきます。りんごを食べるとおなかになんとか赤い模様が出てきました。しろぶたくんと次々すれ違う友だちも、なんだかいつもと違うしろぶたくんに興味津々で口をそろえて聞いてきます。「なにをたべてきたの?」しろぶたくんが食べるものがとても美味しそうに描かれているので、読み聞かせの際についている子どもたちにも「あ〜ん」とおすそわけするのも楽しいですよ。いっぱい食べて体が大きくなる、ということにも触れることの出来る絵本になっていると思います。

主任:園師光基 (佼成出版社)



**今月の聖句**

「主において常に喜びなさい」 フィリピ書4:4

あるアメリカの若い牧師夫婦の話です。牧師は一生懸命に説教を準備しました。ある時、妻が日曜になるとごそごそとクローゼットの引き出しをいじっているのに気づきました。それが一年以上も続いたので、ついに妻のいない時にその引き出しを開けて中を見てしまいました。そこには玉子が三個入っていました。さらにその下にはドル紙幣が何枚か入っていました。この牧師は妻に尋ねました。「いつも日曜になると君はあのクローゼットの周りでそそそしているの、悪いとは思っただけでも、引き出しを開けてしまった。そこに玉子が三つ入っていたけれど、あれは何だい?」。妻の説明はこうでした。「実は、あなたの礼拝説教を聞きながら、あまり良くないことを話した時には、あの引き出しに玉子を入れることにしていたの」と。それを聞いて、彼は少しほっとしました。一年で玉子三個なら、まんざら悪くない説教をしてきたと思ったからです。彼は、さらに質問しました。「じゃあ、あの二段目の引き出しに入っているドル紙幣はなんだい。」すると、「あっ、あれね。あれは、玉子がたまると、それを売っていたのよ!」妻は直接夫に言うことを控えました。けれどもモヤモヤした思いが残るので、玉子を溜め込んだのでしょう。

9月の聖書の御言葉は「主において常に喜びなさい」という有名な言葉です。喜びに生きる者は、敵対関係をつくりません。配慮なく、人に自分の気持ちをおしつけたりもしません。それは小さな子どもたちに親が向き合う時にも大切なことです。親が発する発言は子どもの心に残るし、人格形成に大いに影響を与えるからです。

協力牧師 池田基宣

**利用料見直しのお知らせ**

現在の利用料額は、R5.1~12期の所得額によって算定されております。R6.1~12期の市民税額における階層の変動に伴い、市による利用料の見直しが行われます。9月分より保育料・給食費が変更になる世帯もあります。市より送付の利用料決定通知書でご確認下さい。



**9月の行事予定**

2日(月)	始園式(1号午前保育)
4日(水)	誕生会(2才以上9・10月生)
12日(木)	おすもう大会(3・5才児)
13日(金)	おすもう大会(4才児)
14日(土)	役員会
21日(土)	職員研修
25日(水)	運動会予行練習・弁当日

**10月の行事予定**

5日(土)	第67回運動会
6日(日)	運動会予備日
7日(月)	振替休日(1号)
12日(土)	役員会
17日(木)	秋の遠足(3・4・5才児)
18日(金)	秋の遠足(0・1・2才児)
24日(木)	おにぎり・スープパーティー
26日(土)	父母会おまつりごっこ

敗者からの贈り物

今回の台風一〇号は結構吹きまきましたね。皆様のお住まいは大丈夫でしたので、注意が不要でした。幸いにも園は大きな被害もありませんでしたが、被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。二日間臨時休園させていただきました。ありがとうございました。また、想定以上の酷暑の続いた八月でした。暑い中にあつても、久しぶりにご家族で楽しい時間を満喫されたかと思えます。

さて、今年にはオリンピックの年でした。コロナ禍での東京大会から三年しか経っていないので、もう始まるんだという感じでした。四十五個のメダルを獲得するなどの功績を残し、素晴らしい結果だったと思います。メダルに届かなかった方も、参加されたすべての選手の皆さんに、心から祝福を献げたいと思います。私個人としては、もちろん体操や柔道も感動しますが、一番に印象に残ったのは最終日に行われた女子マラソンです。最下位でゴールしたブライタンのキンツァン・ラモ選手。一位の選手からなんと一時間三十分四秒遅れのゴールでした。今にも止まりそうな走り、浴道の人たちが声を掛けながら並走していきます。拍手喝采の中、三時間五分五秒の自己ベストの記録でゴールしました。完走者の中でももちろん最下位でしたが、最後まで誇りと忍耐を失わない姿は、世界中で感動を呼んだようです。自分な間に間違いなく棄権していただろうと確信していました。ある記事には、「勝者が称賛されたいことはめったにない。敗者はほとんど祝福されることなく、ほぼ常に忘れ去られる。パリ五輪の最終日、ヒマラヤの内陸国から来た、日の当たらない、これまで無名だった女子スポート選手が、自身初の五輪の冒険でそれを変えた」と表現していました。決して強い者だけが人の心をつたうのではないと証明されたわけですね。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門を叩きなさい。そうすれば、開かれる。」という聖句があります。諦めさえしなければ、いつか状況は変わり、道は必ず開かれるというイエスの言葉です。ただ、ここで大切なことは、開かれる道が自分の思っていたとは違う道である場合も多いことです。私も普通の会社員だったので、まさか種子島に住み、幼児に開かれる道が開かれるとは夢にも思いませんでした。私たちが諦めない限り、求め続け、探し続け、門を叩き続けている限り、道は必ず開かれる事を信じて歩みたいものです。

このところ、手足口病やマイコプラズマ肺炎などの感染が報道され気になるところです。残暑が厳しい毎日ですが、そろそろ夏の疲れも出てくる頃です。早寝・早起き・朝ごはん・朝ウンチで、親子共々元気いきましょう。少々頑張りをお求められる行事の多い二学期です。子供たちのありのままの心が発揮されますようご協力をお願い致します。

学園長

**親子で一緒に楽しい時間を!!  
読み聞かせについて (パートII)**

子どもたちが大好きな絵本の読み聞かせ。園でもおやつの前、食事の前、帰りの会の前後等、活動が切り替わるタイミングで一日に何度か読み聞かせの時間を設けています。ワイワイはしゃいでいた子どもたちも、読み聞かせが始まると目を輝かせて絵本の物語の中に入り込んでいきます。こうして子どもたちは出来事の意味を見だし、自分を取りまく環境への理解にも深く繋がって行くとされています。

**幸福体験**

♥ 親に抱かれ、膝の上に乗る心のぬくもりを体感しながら幸せを感じる時となります。

**共感体験**

♥ ページをめくる毎に飛び出してくる絵とお話を見て一緒に楽しむ共感するときとなります。

**自尊体験**

♥ 絵本に書かれている内容を子どもが自分の中に取り入れながら自分自身を素晴らしい存在だと思える体験となります。

子どもたちが先行き不透明なこの世の中を生きていくために必要な力が、この3つと言っても過言ではないと思います。保護者の方も、読み聞かせを通して、子育ての喜びを感じ、幸福感に満たされることと思います。是非、お子さんと一緒に絵本を手にして、膝のうえに抱き、お子さんのぬくもりを感じる時間を作ってみてください。お互いにかげがえのない幸せを築いていきましょう。

園長

